

令和3年度尾張旭市一般会計予算

討論要旨 松原たかし議員

令和3年度の一般会計予算は、前年度から約0.1%減の248億円となっております。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市税等の減少を見込まざるを得ない厳しい状況の中でも、急激な歳出削減を行うことなく、一般財源を確保し、安定的な行政サービスの提供や市内事業者の受注機会を確保することに努められた予算であると理解しております。

コロナ禍で多くの市民の方が不安を抱える中、市民の安心な暮らしや地域経済を何としても支えていこうという、市長の強い決意を改めて感じております。新型コロナウイルスへの対応を優先しながらも、「こどもは宝、健康は宝、幸せづくりは宝」の実現に向け、ポストコロナも見据えたまちづくりに取り組まれる予算であり、評価しております。

予算の内容について、子育て支援の分野では、子ども医療費助成制度の拡大による子育て世代の負担軽減や、保育園のエアコン更新など、保育環境向上のための経費、保育業務支援システムの導入や用務員業務の外部委託、指定管理、保育園の保育士確保や処遇改善支援など、保育の質の向上のための経費が盛り込まれています。

教育の分野では、旭小学校と西中学校の校舎増築工事のほか、トイレ改修工事や特別教室の空調設備設計など、教育環境向上のための経費のほか、GIGAスクール構想に伴う1人1台の端末の活用や心のアドバイザー、心の教室相談員事業の拡充が盛り込まれるなど、ハード・ソフト両面での充実が図られた予算になっています。

都市基盤整備の分野では、北原山土地区画整理事業の促進のほか、駅周辺整備では三郷駅周辺まちづくり事業や、印場駅バリアフリー化事業の推進など、計画的な整備が進められています。

安心安全の分野では、防災アプリによる防災情報の配信など、高低所救助消防自動車の導入、南栄6号線や霞ヶ丘9号線の道路拡幅整備、子どもや高齢者向けの自転車用ヘルメット購入費補助など、防災対策や交通安全の経費が盛り込まれています。

他にも、資源循環型社会や脱炭素社会への取組、地域産業の活性化などにつながる予算など、幅広く盛り込まれています。

以上のことから、この予算案は、新型コロナウイルス感染症の影響に配慮しながら本市の将来を見据えた予算として編成されていますので、賛成の意を表します。